



World Supersport Championship round-9 september 18

大久保光-予戦20番手 決勝10位。

大久保は前戦のサンマリノ大会後、8月2日に現チームの「CIA・ランドロード・インシュランス」と来季の契約を結び、来季も継続参戦することが決まりましたことを、改めて報告させていただきます。サイモン・バックマスターチームマネジャーは「これからの成長が楽しみなライダー」と継続契約の理由を語りました。大久保も「来季のことを悩むことなく、レースに集中出来ることが嬉しい。後半戦は自己ベストを更新していけるようにしたい」と誓いました。

大久保光が参戦するスーパースポーツは、前戦から約3ヶ月という長いお休みを終えて、後半戦へと突入します。この間、大久保は念願の鈴鹿8時間耐久参戦を果たし10位を獲得。その後はトレーニングを重ね、体調を整えてサーキットへと入りました。

World Supersport Championship (WSS) 第10戦は、ドイツのラウシュツリンク・ユーロスピードウェイで開催されました。ドレスデン郊外に位置するラウシュツリンクは、オーバルが2つあり、レーシングコースがインフィールドにあります。1周4.264 kmのコースは、オーバルコースを併用するロングストレートとインフォールドを組み合わせたコースで、難コースとして知られています。

初日のフリー走行は15番手発信、上位進出が期待された予選ですがタイヤの選択を誤り20番手。それでも決勝では10番手争いを制して10位フィニッシュすることが出来ました。

大久保光

「コースは路面のミューが低く、ところどころにクラックが入っていて、それを埋めてあり、グリップ感を得るのが難しいコースでした。ですが、僕は滑りやすいコースが、グリップのいい路面よりも好きなので、ハイスピードコースを楽しみながら走ることが出来ました。初日は良かったのですが、予選ではタイヤ選択を失敗してしまい、そのまま15分ひっぱり、アタックのタイミングを逃してしまいました。初日の1回目の走行は7番手、土曜日の朝フリーも9番手と、決して相性は悪くなく、決勝では追いつけて行く自信がありました。スタートも決まり14番手まで順位を上げて10番手争いに加わり、最終ラップで2台抜いて10位になりました。鈴鹿8耐ではタイヤ本数制限があり、中古タイヤで走行を重ねることが多く、その経験が今回のレースでは生きたと思います。反省点もたくさんありますが、収穫も多く、次戦では、きちんと積み上げながら、確実に目標のシングルフィニッシュに届くように最善を尽くします」

○WSSは10月2日フランスで開催されます。

※アドレスをクリックして頂きますと、メールが立ち上がるようになっております。

お気軽にお問い合わせ下さい。取材対応もさせていただきますので、よろしくお願い致します。

CIAランドロードインシュアランス◆チームリリースに関するお問い合わせ先 : no1_hikari@yahoo.co.jp [大久保 光]

